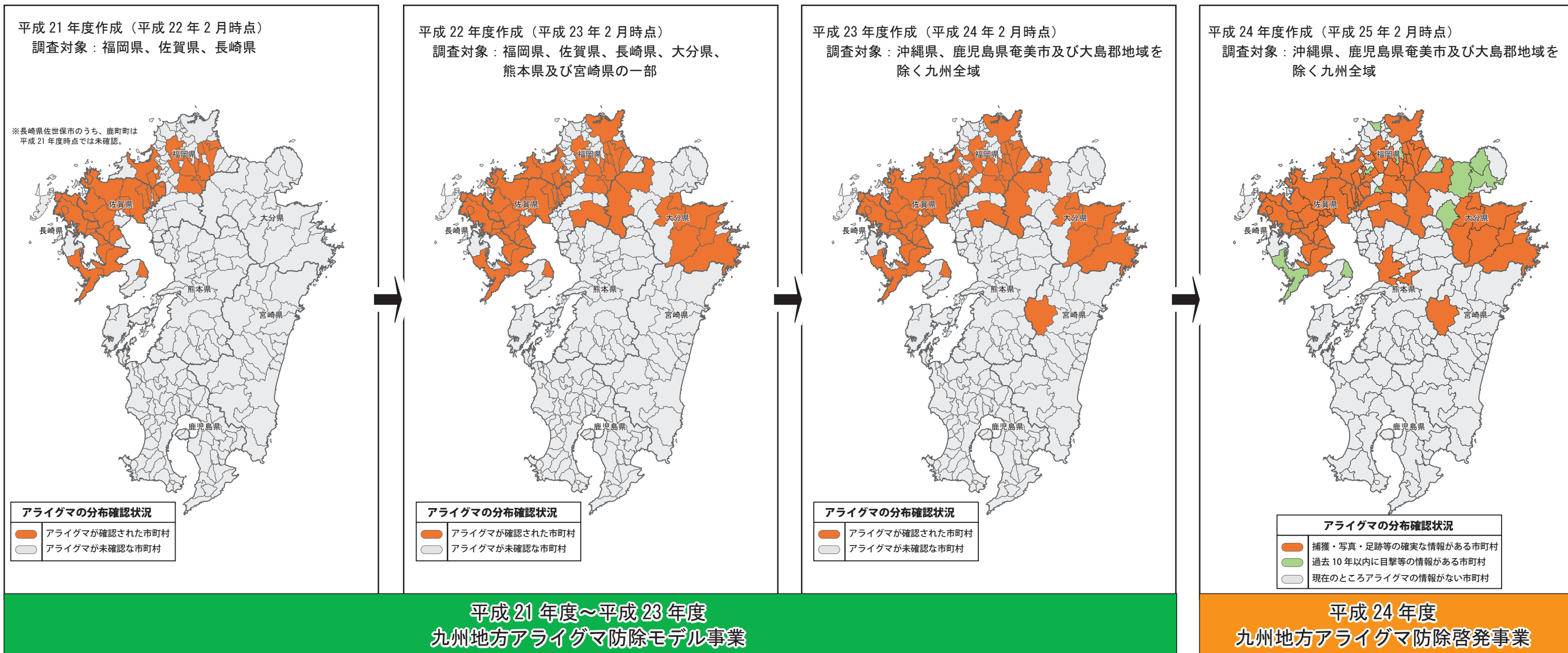


特定外来生物アライグマ

平成21年度～平成24年度における分布確認域の推移

注1：九州地方の島嶼部ではアライグマの分布が確認されていないため、本図では生息が確認された市町村であっても島嶼部には着色していません。
 注2：地図の寸法の関係から、一部の自治体・島嶼部を省略して標記しております。



◆H24年度分布域の変更点

分布域の凡例を「捕獲・写真・足跡等の確実な情報がある市町村」「過去10年以内に目撃等の情報がある市町村」にランク分けし、平成25年2月時点で得られた情報を昨年度までに反映できなかった情報も含めて再整理しました。

各県ごとの変更点は以下の通りです。

- 福岡県：平成24年度に捕獲情報があった久留米市を確実な情報がある市町村に追加。太宰府市、岡垣町、田川市を「過去10年以内に目撃等の情報がある市町村」に追加。平成23年度モデル事業にて目撃情報のみが得られていた大刀洗町と上毛町を「過去10年以内に目撃等の情報がある市町村」に変更。
- 佐賀県：平成24年度に捕獲情報があった大町町を確実な情報がある市町村に追加。
- 長崎県：捕獲等による確実な確認例は無いが、これまで目撃情報等により分布確認地域としていた長崎市と島原市を「過去10年以内に目撃等の情報がある市町村」に変更。
- 熊本県：平成22年度の捕獲情報があった熊本市（平成24年度の写真判定）、平成24年度に写真撮影された御船町を確実な情報がある市町村に追加。
- 大分県：大分県が保有している情報において、爪痕等の情報がある宇佐市、九重町、豊後高田市、杵築市を「過去10年以内に目撃等の情報がある市町村」に変更。